

健康づくり事業の進捗状況

いつまでも心身ともに充実した生活を送るために、健康であることは私たち共通の願いであり、社会全体の願いでもあります。子どもからお年寄りまですべての市民が、いきいきと暮らすためには、まず自らの健康に関心をもち、自分の健康は自分で守りつくるという基本的な考えをもとに、健康づくりが楽しく継続しやすいものとなるよう、家族や友人などと一緒に取り組むことも必要です。

第3次伊賀市総合計画の策定に向け、市民の皆様の健康づくりを支援するために、生涯を通じ健康に暮らすことができる身体づくりや健康教育の推進を図ります。また、ライフステージに対応した健康管理を支援します。

事業を行うに当たり、医療・福祉・保健・子育て等関係機関との連携や住民自治協議会、民生委員・児童委員協議会、医師会、歯科医師会、社会福祉協議会等関係団体との連携や、企業などへの啓発等を積極的に行い健康推進に取り組みます。また、安心して子どもが育てられる母子保健事業や二次予防である健（検）診が受けやすい環境整備を行う等健康づくり事業を充実させるとともに、市民が健康づくりを自分自身に合った方法で気軽に楽しく継続できるしくみづくりを目指します。

健康づくり

【資料1①】

伊賀流自治の視点からみた各主体の役割	
市民(団体)	●「自分の健康は自分でつくるもの」という視点に立ち、自らが生活習慣を見直し、改善するよう努めます。 ●関連団体・機関は、健康づくりに関する情報提供、助言、活動機会の提供を通じて、市民の主体的な健康づくりに取り組みます。
地域	地域が主体となり、地域のニーズに合った健康づくり活動を展開し、地域住民が継続的に健康づくりに取り組むきっかけをつくります。
市(市政再生の視点)	●市民の健康づくりを支援するため、健康に関する情報提供や具体的な取組み方法を提案し、市民が自分自身に合った方法で気軽に楽しく継続できるしくみをつくります。 ●地域における自主的な健康づくり活動を支援するため、地域・団体・企業などと情報交換を行い、それぞれが連携・協力して事業を実施するためのしくみをつくります。

健康づくり 生涯を通じ、健康に暮らすことができる

成果を示す指標 (K P I)	指標の説明	現状値			目標値
健康寿命	65歳からの平均余命から介護等が必要な期間を除いた期間（歳）	男83.42 女86.57 (R4)	男82.94 女85.98 (R5)	男83.28 女87.20 (R6)	延伸 (R7)

【資料1②】

事業名	事業目的/内容	R5年度実績	R6年度実績
家庭訪問	家庭訪問により、心身の健康についての各種相談に応じるなどの必要な支援を実施します。	継続訪問者数:延べ7件	訪問者数:新規9件 :延べ19件
健康相談	心身の健康についての相談に応じ必要な指導や助言をすることにより自身の健康管理を支援します。	集団健康相談: 18回 382件 個別健康相談: 130件	集団健康相談: 16回 283件 個別(電話・面接)健康相談: 142件
出前講座	生活習慣病予防などについての健康情報の提供の場とする。各種団体などからの要請を受けて実施します。	出前講座 52回 延 722人 まちの講師 21回 延 984人	出前講座 46回 延 1,046人 まちの講師 12回 延 382人
禁煙週間の啓発	世界禁煙デー(5月31日)や禁煙週間を通して喫煙と健康問題の認識を深めるため禁煙啓発を図ります。	禁煙週間に、本庁ロビーでパネル展示などの展示と、ケーブルテレビ等で禁煙啓発を行いました。	禁煙週間に、本庁ロビーでパネル展示などの展示と、ケーブルテレビ等で禁煙啓発を行いました。
特定保健指導	特定健診後の特定保健指導として積極的支援および動機付け支援対象者に「体スッキリ教室」を実施します。	「からだすっきりプログラム」を実施し、面談や教室等により生活改善支援を行いました。 参加数:積極的支援 7人 動機づけ支援 39人	「からだすっきりプログラム」を実施し、面談や教室等により生活改善支援を行いました。 参加数:積極的支援 8人 動機づけ支援 68人
健康に関する情報発信	広報紙、ケーブルテレビ、ホームページ等にて保健事業や健康についての情報提供を実施します。	広報紙、ケーブルテレビ、ホームページ等にて保健事業や健康についての情報を提供しました。	広報紙、ケーブルテレビ、ホームページ等にて保健事業や健康についての情報を提供しました。
こころの健康	うつ病予防などこころの健康をテーマにした健康教育の実施	・ケーブルテレビでこころの健康をテーマにした健康教育 2回 ・高等学校で健康教育 1回	・ケーブルテレビでこころの健康をテーマにした健康教育 2回 ・市内高等学校で講演会 2回
自殺予防対策	自殺予防週間及び月間の啓発。 ゲートキーパー養成講座の実施。	週間:市内高校(県立3校、私立3校)でポスター掲示や啓発チラシ等を配布。 コンビニエンスストアやハイトピア伊賀で、チラシ配布やポスター掲示。 月間:ハイトピア伊賀と市役所でパネル展示。 図書館でチラシ配布とポスター掲示。	週間:市内高校(県立3校、私立3校)でポスター掲示や啓発チラシ等を配布。 コンビニエンスストアやハイトピア伊賀で、チラシ配布やポスター掲示。 月間:ハイトピア伊賀と市役所でパネル展示。 図書館でチラシ配布とポスター掲示。 ゲートキーパー養成講座: 3回 62人

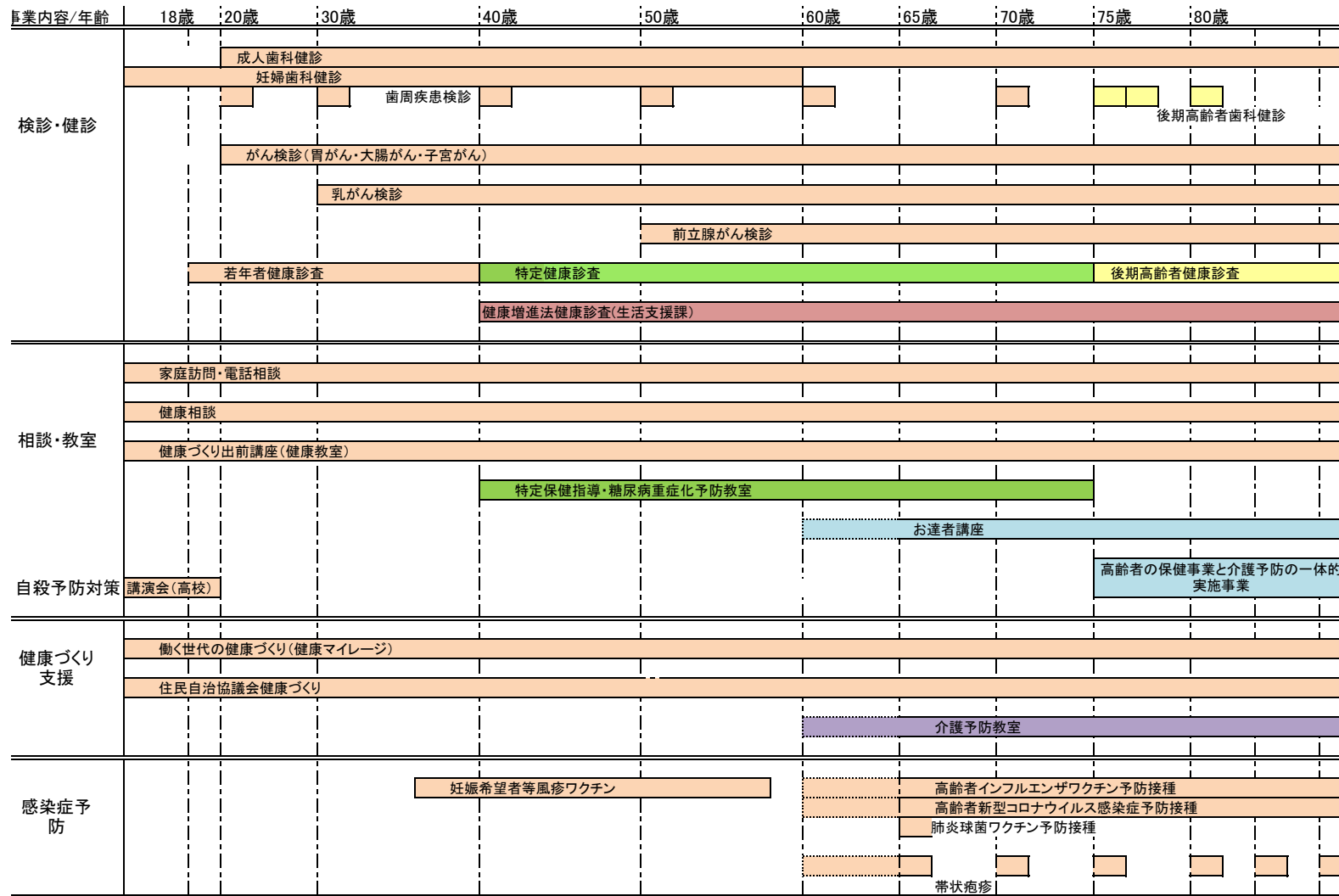
事業名	事業目的/内容	R5年度実績	R6年度実績
糖尿病性腎症重症化予防教室 (保険年金課と共同事業)	糖尿病の重症化を予防するため、糖尿病の治療が必要であるのに受診していない人(未受診者)に対して受診勧奨および個別指導などを行います。	糖尿病重症化予防の取組み(受診勧奨通知、教室)を実施しました。 受診勧奨通知: 48人 個別指導: 1人	糖尿病重症化予防の取組み(受診勧奨通知、教室)を実施しました。 受診勧奨通知: 43人 個別指導: 1人
保健事業と介護予防等の一体的実施事業 (地域包括支援センターとの共同事業)	生活習慣病等の重症化を予防し、自立した生活を支援するため、低栄養を防止し、フレイル状態から要介護への移行を防止します。また、糖尿病の重症化予防及び合併症である腎不全、人工透析への移行を防止するため、受診勧奨や保健指導を実施します。	低栄養防止事業: 低栄養防止プログラムに沿って相談指導を実施しました。 8人	低栄養防止事業: 低栄養防止プログラムに沿って相談指導を実施しました。 6人
がん検診	がんの死亡率低下を目的として、検診バスおよび医療機関において各種がん検診を実施します。 検診バスによる集団がん検診: 7月～3月 市内各所 医療機関による個別がん検診: 7月～2月 市内委託医療機関 実施がん検診: 胃・大腸・前立腺・子宮・乳・肺(集団のみ) また、子宮がん・乳がん検診は、一定の年齢の女性を対象に無料クーポン券を送付、胃がん検診は受診勧奨ハガキの送付を実施します。	集団および個別(医療機関)検診で、胃・前立腺・大腸・子宮・乳がん検診を実施しています。個別胃がん検診の内視鏡検査を令和4年度から再開しました。 部位別受診者 (集団) (個別) 胃(うち内視鏡) 799 278(177) 前立腺 341 382 大腸 1556 686 子宮 1078 691 乳 1501 611 肺 1397 -	集団および個別(医療機関)検診で、胃・前立腺・大腸・子宮・乳がん検診を実施しています。 部位別受診者 (集団) (個別) 胃(うち内視鏡) 639 369(249) 前立腺 274 426 大腸 1383 3149 子宮 969 717 乳 1417 676 肺 1387 -
若年者健診	20歳から39歳の若年者を対象に健康診査を実施します。	受診者: 70人	受診者: 83人
健康増進法健康診査	生活保護者を対象とした健康診査を実施します。	受診者: 82人	受診者: 88人
成人歯科健康診査	壮年期に進行する歯周疾患の早期発見・早期治療のための成人歯科健康診査を実施します。	受診者: 190人	受診者: 138人
歯周疾患健診	特定の年齢(40・50・60・70歳)に達した者に無料受診券を配布し、歯科健診の機会の充実を図ります。	受診者: 657人	受診者: 515人
妊婦歯科健診	母子健康手帳を交付した妊婦に無料歯科健診受診券を配布します。	受診者: 170人	受診者: 152人
在宅要介護者歯科健診	要介護状態などで歯科受診が出来ない場合に訪問健診を実施します。	受診者: 9人	受診者: 8人
歯科保健事業8020運動	「80歳になっても20本、自分の歯を保とう」を目標に、一生涯自分の歯で楽しい食生活と健康な日常生活を送ることを目的とし啓発活動を実施	年1回表彰、表彰者数: 2人	年1回表彰 市長賞・歯科医師会長賞 各1名

【資料1②】

事業名	事業目的/内容	R5年度実績	R6年度実績
健康づくり地域支援	住民自治協議会で実施される健康づくり事業への支援。	健康機器取扱い説明会：1回 (19自治協 38名)	各地区市民センターへの健康機器配布(血圧計、握力計など) 健康機器取扱い説明会：1回 (15自治協30名) 機器貸出：24地域
食生活改善推進委員養成講座	食生活と健康についての知識を習得するとともに、地域で食生活改善活動の推進に取り組む食生活改善推進員を養成します。	食生活改善推進員養成講座を実施しました。6回実施 16名修了	未実施(定員に満たなかったため)
忍にん体操指導者養成講座・普及会後援	伊賀市の創作健康体操である「忍にん体操」を市民に普及するため、忍にん体操の指導者を養成するとともに、忍にん体操普及会による地域活動を支援します。	まちの講師など、忍にん体操普及会による地域活動を支援	まちの講師など、忍にん体操普及会による地域活動を支援
健康マイレージ	健康づくりのきっかけとなるよう、自分で決めた健康づくり目標に取り組みを支援します。取り組むことでポイントを貯め応募、商品が獲得できるしくみです。	応募延人数：1,150人 (第1回：504人 第2回：646人)	LINEお友達登録数：2,023人 応募延人数：256人
予防接種事業	小児および高齢者等の感染症予防のため、予防接種を勧奨します。	(乳幼児定期接種) ヒブ・小児肺炎球菌・B型肝炎・四種混合・BCG・MR・日本脳炎・二種混合・HPV (乳幼児任意接種) おたふくかぜ・インフルエンザ(成人) 高齢者肺炎球菌・高齢者インフルエンザ・妊娠希望者等風疹・成人5期風疹	(乳幼児定期接種) ロタ・ヒブ・小児肺炎球菌・B型肝炎・四種混合・五種混合・BCG・MR・日本脳炎・二種混合・HPV (乳幼児任意接種) おたふくかぜ・インフルエンザ(成人) 高齢者肺炎球菌・高齢者インフルエンザ・新型コロナ・妊娠希望者等風疹・成人5期風疹
献血事業	血液需要の増加に対応するため、あらゆる機会を通じて献血意識を高めるとともに献血機会の場を提供します。	献血啓発：4回、献血事業：16回 献血協力者：622人	献血啓発：3回、献血事業：16回 献血協力者：569人
がん患者医療用ウィッグ等購入費助成	がん治療を継続しながら社会生活を両立し、治療後も同様の生活を維持するため、がん治療に伴う外見の変化(アピアランス)を補完するウィッグ等に係る費用の一部を補助します。	—	申請件数：14件
健康危機管理	普段から住民への感染症流行や大規模災害などでの意識・知識の啓発を行うことにより地域で支えあう方法について学び、また職員間で災害発生時にスムーズに行動・対応できるよう体制づくりを図ります。	熱中症や食中毒予防、インフルエンザの予防等、広報やケーブルテレビなどでタイムリーに住民に周知をしています。	熱中症や食中毒予防、インフルエンザの予防等、広報やケーブルテレビなどでタイムリーに住民に周知をしています。

伊賀市 成人保健・健康づくり支援事業の流れ

資料1③



健康推進課
 保険年金課
 地域包括支援センター
 後期高齢者医療広域連合
 介護高齢福祉課

成人期の健康づくり 関連図

【資料1④】

